

# ザラバ取引の概要



大阪堂島商品取引所は、現在の先物市場において内外を問わずスタンダードとされているザラバ方式による新しい取引システムに移行することとしました（2018年10月15日）。

これにより、コメ先物市場へのアクセス向上が期待されます。

大阪堂島商品取引所では、これを機に、コメ先物市場の機能強化に一層取り組んで参ります。

# 1. 立会時間・約定方式

	概要
立会時間	午前9時～午後3時 ※事前受付時間はありません。
約定方式	<p>「価格優先の原則」、「時間優先の原則」の下で、同一商品・限月の買注文と売注文のマッチングを行います。</p> <p>【価格優先の原則】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・買注文：指値の高い注文が指値の安い注文より優先します。</li><li>・売注文：指値の安い注文が指値の高い注文より優先します。</li></ul> <p>【時間優先の原則】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・同一の指値注文が複数ある場合：受け付けた時間の早い注文を優先します。<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 指値変更または注文枚数を増やす場合、変更注文の受付時間が基準となり、優先度が当初より下がります。</li><li>➤ 注文枚数を減らす場合、変更前の注文受付が引き続き基準となり、優先度に変更はありません。</li></ul></li></ul>

## 2. 注文の種類と約定条件

本所で受付可能な注文は指値注文（新規、変更、取消）のみです。  
また、発注の際、一度にすべての注文数量が約定しない場合の対応を選択します。

約定条件	説明
FaS	残った注文数量は引き続き有効となります。
FaK	残った注文数量はすべてキャンセルされます。
FoK	すべての注文数量がキャンセルされます。

### 3. 帳入値段

以下の順位で帳入値段を決定します。

順位	帳入値段の決定方法
1	午後 1 時から午後 3 時（以下、算出基準時間帯という。）において、成立した約定値段と取引数量の加重平均により算出した値段 （呼値の単位に満たない端数が生じた場合は、これを四捨五入した値段）
2	算出基準時間帯に最も近い約定値段
3	前日帳入値段
4	前日帳入値段がない場合は、直近限月の前日帳入値段 （新甫限月において 1、2 で決定しなかった場合）
5	1～4により算出した値段が市場の状況等に照らして適当でないと本所が認めた場合は、前日帳入値段以上であって、最も高い買い気配値、若しくは前日帳入値段以下であって、最も低い売気配値
6	1～5により算出した値段にかかわらず、本所が必要と認めるときは、本所が指定した値段（基本的には新穀限月への適用を想定）

※これ以外にも、理事会決定等により決定する場合があります。

## 4. 制限値段額

上場商品	制限値段額
米穀	300円
とうもろこし	1,000円
米国産大豆	2,000円
小豆	350円
粗糖	2,000円

## 5. 制限値段額の拡大及び縮小（米穀）

【全限月対象】（当限は特定期間を除く。）

通常期	
前営業日の帳入値段	制限値段額の変更（前営業日→本日）
A.複数限月(当限を除く) が制限値段に達した	300円→400円 400円→500円 500円→500円(変更なし)
B.複数限月(当限を除く) が制限値段に達しなかった	300円→300円(変更なし) 400円→300円 500円→400円

【当限の特定期間における制限値段額】

納会月の11日以降(大阪コメは1日以降)	
前営業日の帳入値段	制限値段額の変更（前営業日→本日）
C.当限が制限値段に達した	前営業日の制限値段額にかかわらず→600円
D.当限が制限値段に達しなかった	前営業日の制限値段額にかかわらず→300円